

特定非営利活動法人
阿武山地震・防災サイエンスミュージアム

2023年6月24日（土）13：00～14：30
（オンライン開催/Zoom形式）

第3回通常総会 式次第

1. 開会
2. 理事長挨拶
3. 出席者報告
4. 議長選出
5. 議事録作成人および署名人の選出
6. 議事
 - 第1号議案 令和4年度事業報告書、活動計算書・貸借対照表及び財産目録承認の件
（監査報告）
 - 第2号議案 令和5年度事業計画書、活動予算書承認の件
 - 第3号議案 新役員選任の件
7. 閉会
8. 事務連絡等

.....
【目次】

令和4年度事業報告書.....	1-6
令和4年度活動計算書・貸借対照表・財産目録.....	7-11
監査報告書.....	12
令和5年度事業計画書.....	13-17
令和5年度活動予算書.....	18-19
役員名簿.....	20

令和4年（2022年）度事業報告書

特定非営利活動法人阿武山地震・防災サイエンスミュージアム

I 事業期間

自：令和4年（2022年）4月1日～至：令和5年（2023年）3月31日迄

II 事業の成果

前年度に引き続き、地震科学における「オープンサイエンス」活動を進め、幅広い人々が学ぶ機会を設けて地域の地震防災・減災社会の構築に取り組み、同時に地域の人々との交流も図ることができた。また、一般見学会や防災講演会などを通して地域住民の方々に地震に関する知識・関心を持っていただくことに寄与できた。

小学生対象の夏休み企画として「ペットボトル地震計講座」では、ペットボトルを使って簡易な地震計を作って地震計の仕組みなどを学び、多くの子どもたちに地震科学への興味を持ってもらうことができた。

前年度から当法人主催でスタートした講演会シリーズ「新まんてんてらこや」を、対面講義とオンライン講義といった初の「ハイブリッド方式」で開催した。内陸地震を引き起こす活断層について、最新の知見や長期評価の内容などを提供し、参加された市民の方々に地震や防災・減災に関心を持ってもらうことができた。

また新たに大阪市内の一般社団法人主催のセミナーに協力してオンライン講座を開催し、出前講座で講演している地震防災の講義に、新たに障がい者や高齢者を対象とした災害時要配慮者の防災対策を加え、多くの介護施設などにも聴講してもらえた。

さらに新たな取り組みとして桜島火山観測所（鹿児島）のアウトリーチ活動を支援する試みで、当該観測所に所属する「ハルタ山観測所」を新たな桜島の観光資源に加えるべく、紹介セミナーやツアーの企画、コンテンツ開発の委託を有償で請負った。桜島観測所の視察やヒアリング後、現地ガイドを勤める桜島ジオサルクとの協力体制を確立し、納期内に観測所ツアー用コンテンツを製作して納品することができた。

阿武山観測所及び当法人を紹介した冊子「阿武山観測所ガイドブック」は、第1版第1刷を完売し第2刷の印刷、販売までに至り収益に大変貢献した。

また「写真コンテスト」は第2回を開催し前回同様多くの力作が応募された。今回は審査員に日本風景写真協会京都支部長の先生にも加わっていただき、先生からは幅広い分野の写真で、レベルの高い作品が多いとの講評をいただいた。

さらに京大ウィークスの催しの一環として新たに「アマチュア無線局」を開局し、アマチュア無線の楽しさや防災に役立つ仕組みを多くの市民に体験してもらった。

観測所敷地内の環境保全では、前年度に引き続き阿武山グリーンクラブが広大な敷地内の樹木伐採や草刈り、植栽など自然環境・景観保持など訪問者や近隣住民の方々の安全かつ快適な環境作りにも努めた。

Ⅲ 事業の実施状況

1 特定非営利活動に係る事業

(1) (事業名) 一般見学会

(内 容) 地震学の歴史講座と歴代地震計や地震・防災に関する各種展示のツアーガイド、屋上展望案内を行った。また大阪平野地下の活断層の状況をCG化したビデオを放映した。

ミニプログラムは日替わりで、阿武山古墳、阿武山観測所の建築、構内の自然観察ツアーに、新たに防災クイズを加えて実施した。

(実施場所) 阿武山観測所

(実施日時) 毎月第2土曜日/第3日曜日 開催合計44回(昨年度は38回)

① 午前の部、10:00~12:00 ② 午後の部、13:30~15:30

令和4年

4月9日/17日、5月14日/22日、6月11日/19日、

7月2日/10日、8月20日/28日、9月10日/18日、

10月8日/16日、11月12日/20日、12月10日/18日、

令和5年

1月14日/22日、2月11日/19日、3月11日/19日

(事業の対象者) 一般市民(参加者合計:506名 昨年度は446名)

(収 益) なし(参加費無料)

(費 用) なし

(2) (事業名) 団体般見学会

(内 容) 10名以上の団体を対象とする見学会。一般見学会の内容をベースに各団体の希望に応じて内容や所要時間等をカスタマイズして実施した。

(実施場所) 阿武山観測所

(実施日時) 随時受付。開催合計23回(昨年度は14回)

主に10:00~16:00の間で約2時間実施。

令和4年

5月19日/28日、6月10日/24日、7月16日、

9月17日/19日/24日、10月14日/22日、

11月13日/16日/27日、12月4日/13日、

令和5年

1月15日/20日、2月12日/26日、3月5日/21日/22日/23日

(事業の対象者) 10名以上の一般市民(参加者合計は377名 昨年度は291名)

(収 益) なし(参加費無料)

(費 用) なし

(3) (事業名) ペットボトル地震計講座

(内 容) 小学生を対象にした地震学と工作の講座で、地震計の仕組みを勉強し、ペットボトルを使って簡易な地震計を作る。学校では体験できないような学習の場を提供し、子どもの学習意欲の向上を図る。今年度は4か所で開催し合計98組が参加(昨年度は78組)され、夏休みの自由研究にも貢献することができた。

(実施場所) ①阿武山観測所 ②高槻市立自然博物館 ③高槻市立総合市民交流センター ④人と防災未来センター

(実施日時) ①阿武山観測所(高槻市)7月23日/24日
主催:京都大学阿武山観測所 ①10:00~12:00 ②13:30~15:30
(事業の対象者) 小学4年~6年生(保護者同伴)参加者合計は12組。
(収益) なし(参加費無料)
(費用) 6,264円(材料費)

(実施日時) ②高槻市立自然博物館(あくあびあ芥川)7月30日
主催:あくあびあ芥川 ①10:00~12:00 ②13:30~15:30
(事業の対象者) 小学4年~6年生(保護者同伴)参加者合計は12組。
(収益) 8,000円
(費用) 2,000円(運搬費)

(実施日時) ③高槻市立総合市民交流センター(クロスパル高槻)7月31日
主催:高槻市みらい創生室 ①10:15~12:00 ②14:00~15:45
(事業の対象者) 小学4年~6年生(保護者同伴)参加者合計は29組。
(収益) 59,500円
(費用) 2,000円(運搬費)

(実施日時) ④人と防災未来センター(神戸市)8月5日/6日/7日
主催:人と防災未来センター ①10:00~12:00 ②13:30~15:30
(事業の対象者) 小学4年~6年生(保護者同伴)参加者合計は45組。
(収益) 121,500円(講習料/33,000円、3日分)
(参加費・資料代/22,500円:1名500円×45組)
(費用) 36,440円(講師等11名の交通費/27,200円、運搬費/9,240円)

(4) (事業名) 出前講座(防災講演会) テーマ「いつか起こるは今日かも知れない」
(内容) 地震や防災に関する一般向けの講演会。我々を取り巻く地震環境についての講演会で、南海トラフ地震を中心に今後予想される大地震にどのように備えるか、政府発表の臨時情報等も取り入れた解説などを行う。また、身近で起こった大阪府北部地震などについても解説し、地震防災についての心構えなどの関心を深めることができた。

(事業の対象者) 開催地域近隣在住の受講希望者。
(実施場所) 北清水公民館(高槻市) 参加者28名
(実施日時) 9月21日 10:00~12:00
(収益) 6,000円 (費用) なし
(実施場所) 大和ネオポリス自治会 参加者25名
(実施日時) 1月15日 13:00~15:00
(収益) 10,000円 (費用) なし

(5) (事業名) 出前講座(ネット講演会) テーマ「いつか起こるは今日かも知れない」
(内容) 一般社団法人キャリアデザインアプローチ様主催の講演で、出前講座で行っている防災講演会の内容に、新たに障がい者や高齢者など避難行動要支援者の災害時対応を加えた講義をオンライン形式で行い、個人のみならず介護施設勤務の方々など多くの人に聴講いただけた。
(実施場所) 阿武山観測所からインターネット(Zoom)で発信
(実施日時) 10月15日 10:00~12:00

(事業の対象者) 個人、介護施設や一般企業などの受講希望者。合計 18 か所。

(収 益) 10,000 円 (聴講者は無料) (費 用) なし

(6) (事業名) 公開講座 (新まんでんてらこや)

テーマ:「近畿の主要活断層と長期評価」

(内 容) 南海トラフの巨大地震の前に活発化する内陸の地震活動。我々の直下にある活断層について、基礎的な事柄から特徴、近畿や全国 110 の主要活断層の特質と長期評価、今後の課題などについて質疑応答も交えた、一般市民にも非常にわかり易い内容の講演をしていただいた。

講師:立命館大学客員研究員・京都大学名誉教授 岡田 篤正氏。

(実施場所) 阿武山観測所での対面講義とオンラインのハイブリッド方式開催

(実施日時) 令和 4 年 8 月 1 0 日 10:00~11:30

(事業の対象者) 一般市民/当 NPO 会員

(収 益) 12,308 円 (参加費一般 500 円/対面 16 名、オンライン 11 名計 27 名
当 NPO 会員は無料/対面 13 名、オンライン 7 名計 20 名)

(費 用) チラシ印刷代、送料 19,950 円

(7) (事業名) 桜島火山観測所見学会向けコンテンツ作成

(内 容) 兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科からの委託により、当 NPO が阿武山観測所で行っている見学会のノウハウを元に、新たに桜島火山観測所のハルタ山観測所での見学会用コンテンツの企画、作成を行い桜島火山観測所に納期内に納品した。

(実施場所) 阿武山観測所および桜島火山観測所ハルタ山観測所

(実施時期) 令和 4 年 9 月~令和 5 年 3 月

(事業の対象者) 桜島火山観測所

(収 益) 577,260 円 (見学会用コンテンツ製作)

(費 用) 247,980 円 (出張費/現地 1 泊ヒアリング調査 3 名× 2 回)
71,730 円 (展示用パネル製作費等)

(8) (事業名) 阿武山観測所の環境整備活動

(内 容) 阿武山グリーンクラブが中心となり、約 10 万平方メートルに及ぶ広大な観測所敷地内の樹木の伐採や草刈り、落ち葉処理や植栽など訪問者や周辺住民の安全かつ快適な環境作りに努める。また、樹木の名前プレート設置など、自然観察ツアーの補助も行った。

(実施場所) 阿武山観測所構内

(実施日時) 毎月・金曜日

(事業の対象者) 見学者及び地域住民

(収 益) なし

(費 用) なし

(9) (事業名) セミナー開催支援事業

(内 容) 阿武山観測所の 2 つの会議室や宿泊施設を活用したセミナーや宿泊研修会など、各種イベント開催を支援する。

(実施場所) 阿武山観測所

(実施日時) 随時

(事業の対象者) 一般市民および当法人会員

(収 益) なし (今期は使用申込無し)

(費 用) なし

(10) (事業名) 教育関係者の研修、教育教材開発の支援事業

(内 容) 歴史地震研究会の巡検で、飯尾能久理事長による特別講演や、サポーターによる地震計案内ツアーを開催するなどの研修支援を行った。

(実施場所) 阿武山観測所

(実施日時) 9月19日

(事業の対象者) 関西大学社会安全学部 林先生 他20名

(収 益) 29,500円

(費 用) なし

(11) (事業名) 第2回 阿武山観測所と阿武山周辺の写真コンテスト

(学術、教育、文化・芸術の支援事業)

(内 容) 阿武山観測所や阿武山周辺を含む北摂地域で撮影された四季折々の写真を一般公募して多くの応募があった。入賞者には賞金や記念品を贈呈。また作品は当法人のホームページに掲載した。また日本風景写真協会京都支部長に審査のご協力をいただいた。今後も文化・芸術活動など、幅広いイベントを通して当法人の活動PRを行い、新規会員の獲得につなげていきたい。

(実施場所) 阿武山観測所及び北摂地域

(実施日時) 令和4年9月1日～12月31日(応募期間)

(事業の対象者) 一般市民及び当NPO会員(全国から46点の作品応募)

(収 益) なし(応募料は無料)

(費 用) 32,660円(賞金:大賞1名10,000円、準大賞2名各5,000円、入選者5名の記念品送料2,660円、審査費10,000)

2 その他の事業

(1) (事業名) 書籍販売(地震・防災に関連する資材や物資の紹介と販売事業)

(内 容) 「阿武山観測所ガイドブック」の販売。

地震学と阿武山観測所の歴史や保存展示している歴代地震観測機器の解説。また、昭和初期の歴史的な建築物や周辺の自然や眺望なども紹介した冊子。

(実施場所) 阿武山観測所

(実施日時) 見学会や講演会等イベント実施日

(事業の対象者) イベント参加者

(収 益) 175,000円(1冊:500円、販売実績 第1刷280部、第2刷70部)

(費 用) 47,970円(第2刷500部印刷費)

IV 課題および特記事項

(1) 課題

- ① 会員数増を計画したが、積極的かつ効果的な勧誘活動ができず、結果会員総数は56名で前年度と比較して会員数は9名増のみと微増の結果に終わった。新年度から当法人が京都大学から阿武山観測所のサイエンスミュージアムとしての運営を有償で委託されることになり、円滑な運営を行っていくためにも会員数を増やす施策が急務である。
- ② 上記に伴い、今後委託業務を遂行するためのNPO事務局側の作業負担が増えることが予見され、対象となる事務局員やそれをサポートする阿武山サポーター員に活動結果に応じた報酬を、事業費の人件費として支払うことも検討する必

要がある。但し NPO 法人がその社員やアルバイトに報酬を支払う場合、事前に就業規則を作成し雇用契約を結び労災保険等に参加するなどの手続きが必要となる。また適切な報酬額をいくらに設定するかも要検討課題である。

- ③ 当法人の下支えする阿武山サポーター会のボランティア活動参加者の高齢化等が進み減少傾向にあり、さらに今年度新規参加者が 2 名あったが受け入れ体制が不十分で活動継続に至らず、この現状が続くと見学会等の運営にも支障をきたす恐れがある。そのためサポーターを適切に受け入れ適切な教育を施すための体制を作った上で、市の広報誌などを利用して新規募集を行う必要がある。
- ④ 団体見学会は参加費無料で受付けているが、団体の中には有料の催しの中に当団体見学会を組み込む例（例えば有料の阿武山古墳探訪ツアーの一環で阿武山観測所の見学も含めるなど）があり、こういった場合は申し込み受付時に団体主催者側と見学有料化を交渉できる料金体系を整える必要がある。

(2) 特記事項

当法人設立時から理事並びに事務局長として幅広く活動された杖本富夫氏が去る 2023 年 3 月 7 日にご逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

以 上

活動計算書

2023.3.31現在

Ver1.3

第2期（自2022年4月1日 至2023年3月31日）

税込（単位：円）

	特定非営利 活動に係わ る事業	その他の 事業	合計
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員会費（44人×3千円）	132,000		132,000
準会員会費（5人×2千円+1人×500円）	10,500		10,500
賛助会員会費（個人6人+法人1社）	51,000		51,000
会費合計	193,500		193,500
正会員入会金（5人×2千円）	10,000		10,000
入金合計	10,000		10,000
受取会費合計	203,500		203,500
2. 受取寄付金	17,450		17,450
3. 事業収益			
自主事業収益		175,000	175,000
（観測所冊子売上350冊分×500円）			
講演会セミナー等収益	804,568		804,568
（ペットボトル地震計講座189,000円 出前講演会603,260円（内桜島PJ577,260円） 新まんでてらこや12,308円）			
教員研修・教材開発支援事業収益	29,500		
（歴史地震研究会研修支援）			
事業収益合計	834,068	175,000	1,009,068
4. その他収益			
受取利息	5		5
経常収益計	1,055,023	175,000	1,230,023
II 経常費用			
1. 事業費			
（1）人件費	0	0	0
（2）その他経費			
印刷製本費（冊子売上350冊分）		38,670	38,670
（桜島展示パネル、てらこやチラシ）	85,800		85,800
会議費（事業）	3,090		3,090
旅費交通費（事業）	274,460		274,460
通信運搬費（事業）	15,090		15,090
消耗品費（事業）	6,264		6,264
支払手数料（事業）	1,160		1,160
その他経費計	385,864	38,670	424,534
事業費計	385,864	38,670	424,534
2. 管理費			
（1）人件費	0	0	0
（2）その他経費			
印刷製本費 NPOパンフ増刷	9,890		9,890
旅費交通費	100		100
通信運搬費	10,652		10,652
消耗品費	4,366		4,366
地代家賃	11,466		11,466
減価償却費 NPOパソコン	32,756		32,756
保険料	103,689		103,689
支払手数料（管理）	31,185		31,185
雑費（写真コンテスト賞金）	40,000		40,000
その他経費計	244,104	0	244,104
管理費計	244,104	0	244,104
経常費用計	629,968	38,670	668,638
当期経常増減額	425,055	136,330	561,385
経常外収益	0	0	0
経常外費用	0	0	0
税引前当期正味財産増減額	425,055	136,330	561,385
経理区分振替額	136,330	-136,330	0
法人税、住民税、事業税等	212,500		212,500
当期正味財産増減額	348,885	0	348,885
前期繰越正味財産額	727,738	0	727,738
次期繰越正味財産額	1,076,623	0	1,076,623

事業別損益の状況

Ver1.3 第2期（自2022年4月1日 至2023年3月31日）

	特定非営利活動に係わる事業		その他事業		2023.3.31現在
	管理	収益事業			税込（単位：円）
	ミュージアム活動	ペットボトル講座	講演会 セミナー	書籍出版 販売	合計
I 経常収益					
1. 受取会費					
正会員会費（44人×3千円）	132,000				132,000
準会員会費（5人×2千円+1人×500円）	10,500				10,500
賛助会員会費（個人6人+法人1社）	51,000				51,000
会費合計	193,500				193,500
正会員入会金（5人×2千円）	10,000				10,000
入会金合計	10,000				10,000
受取会費合計	203,500				203,500
2. 受取寄付金					
	17,450				17,450
3. 事業収益					
自主事業収益				175,000	175,000
（観測所冊子売上350冊分×500円）					0
講演会セミナー等収益	189,000	615,568			804,568
（ペットボトル地震計講座189,000円）					
出前講演会603,260円（内桜島PJ577,260円）					
新まんでてらこや12,308円）					
教員研修・教材開発支援事業収益		29,500			
（歴史地震研究会研修支援）					
事業収益合計	0	189,000	645,068	175,000	1,009,068
4. その他収益					
受取利息	5				5
経常収益計	220,955	189,000	645,068	175,000	1,230,023
II 経常費用					
1. 事業費					
（1）人件費	0	0	0	0	0
（2）その他経費					
印刷製本費（冊子売上350冊分）				38,670	38,670
（桜島展示パネル、てらこやチラシ）			85,800		85,800
会議費（事業）			3,090		3,090
旅費交通費（事業）	27,200	247,260			274,460
通信運搬費（事業）	13,240	1,850			15,090
消耗品費（事業）	6,264				6,264
支払手数料（事業）		1,160			1,160
その他経費計	0	46,704	339,160	38,670	424,534
事業費計	0	46,704	339,160	38,670	424,534
2. 管理費					
（1）人件費	0	0	0	0	0
（2）その他経費					
印刷製本費（管理）	9,890				9,890
旅費交通費（管理）	100				100
通信運搬費（管理）	10,652				10,652
消耗品費（管理）	4,366				4,366
地代家賃（管理）	11,466				11,466
減価償却費（パソコン）	32,756				32,756
保険料	103,689				103,689
支払手数料（管理）	31,185				31,185
雑費（写真コンテスト賞金）	40,000				40,000
その他経費計	244,104	0	0	0	244,104
管理費計	244,104	0	0	0	244,104
経常費用計	244,104	46,704	339,160	38,670	668,638
当期経常増減額	-23,149	142,296	305,908	136,330	561,385
			584,534		

貸借対照表

NPO阿武山地震防災サイエンスミュージアム
全事業所

【税込】（単位：円）
2023年 3月31日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】		【流動負債】	
（現金・預金）		前受正会員会費	90,000
現 金	55,650	前受準会員会費	6,000
普通預金	1,137,515	前受賛助会員会費	42,000
現金・預金計	1,193,165	未払法人税等	212,500
（棚卸資産）		流動負債合計	350,500
棚卸資産	42,644	負債合計	350,500
貯蔵品	504	正 味 財 産 の 部	
棚卸資産計	43,148	前期繰越正味財産	727,738
（その他流動資産）		当期正味財産増減額	348,885
前払費用	81,620	正味財産合計	1,076,623
その他流動資産計	81,620		
流動資産合計	1,317,933		
【固定資産】			
（有形固定資産）			
什器備品	109,190		
有形固定資産計	109,190		
固定資産合計	109,190		
資産合計	1,427,123	負債及び正味財産合計	1,427,123

財 産 目 録

v1.1

NPO法人阿武山地震・防災サイエンスミュージアム

税込 (単位:円)

全事業所

2023年3月31日現在

≪ 資産の部 ≫

【流動資産】

(現金・預金)

現 金	55,650	
普通 預金	1,137,515	
現金・預金計	1,193,165	

(棚卸資産)

棚卸 資産	42,644	
阿武山観測所ガイドブック在庫分		
貯 蔵 品	504	
切手		
棚卸資産計	43,148	

(その他流動資産)

前払 費用	81,620	
NPO損害賠償保険料		
その他流動資産計	81,620	

流動資産合計 1,317,933

【固定資産】

(有形固定資産)

什器 備品	109,190	
NPO専用パソコン		
有形固定資産計	109,190	

固定資産合計 109,190

資産合計 1,427,123

≪ 負債の部 ≫

【流動負債】

前受正会員会費	90,000	
前受準会員会費	6,000	
前受賛助会員会費	42,000	
未払法人税等	212,500	

流動負債合計 350,500

負債合計 350,500

正味財産 1,076,623

財務諸表の注記

NPO阿武山地震防災サイエンスミュージアム

2023年 3月31日 現在

【重要な会計方針】

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

(1). 棚卸資産の評価基準及び評価方法

原価基準による最終仕入原価法

(2). 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産：定額法

【事業費の内訳】

事業費の区分は以下の通りです。

(1/2)

[税込] (単位：円)

科目	特定非営利活動に係る事業				
	サイエンスミュージアム活動	地震防災教育啓発活動	地震防災講演会セミナー活動	施設周辺環境整備保全活動	学術教育文化芸術支援事業
(人件費) 人件費計	0	0	0	0	0
(その他経費) 印刷製本費(事業)			85,800		
会議費(事業)			3,090		
旅費交通費(事業)		27,200	247,260		
通信運搬費(事業)		13,240	1,850		
消耗品費(事業)		6,264			
支払手数料(事業)			1,160		
その他経費計	0	46,704	339,160	0	0
合計	0	46,704	339,160	0	0

(2/2)

[税込] (単位：円)

科目	特定非営利活動に係る事業		その他の事業		合計
	教育関係者研修教材開発支援	その他活動	地震防災資材物資等販売事業	地震防災関連書籍出版販売事業	
(人件費) 人件費計	0	0	0	0	0
(その他経費) 印刷製本費(事業)				38,670	124,470
会議費(事業)					274,460
旅費交通費(事業)					15,090
通信運搬費(事業)					6,264
消耗品費(事業)					1,160
支払手数料(事業)					0
その他経費計	0	0	0	38,670	424,534
合計	0	0	0	38,670	424,534

【固定資産の増減内訳】

[税込] (単位：円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
(有形固定資産) 什器 備品	0	174,702	0	141,946	△ 32,756	109,190
合計	0	174,702	0	141,946	△ 32,756	109,190

※什器備品は定額法で5年償却

令和5年 5月 19日

監査報告書

特定非営利活動法人 阿武山地震・防災サイエンスミュージアム

理事長 飯尾 能久 様

特定非営利活動法人 阿武山地震・防災サイエンスミュージアム

監事 大志万 直人 
監事 平林 英二 

令和4年4月1日から令和5年3月31日までの会計年度における業務及び会計の監査を行ったので、その結果を下記の通りご報告します。

記

1. 業務報告において関係書類により監査を行ったところ、その施行は妥当であると認めます。
2. 会計において帳簿並びに関係書類により監査を行ったところ、その執行は正確に処理されているものと認めます。

以 上

令和5年度事業計画書

特定非営利活動法人阿武山地震・防災サイエンスミュージアム

I 事業期間

(自) 令和5年(2023年)4月1日～(至) 令和6年(2024年)3月31日迄

II 事業の実施方針

2023年3月末現在、正会員が5名増の44名、準会員が学生1名増の6名、賛助会員は個人が3名増の6名、団体が1社で、会員総数は56名となった。

令和4年度に会員数増を計画したが、積極的かつ効果的な勧誘活動ができず、結果会員数は9名増のみと微増の結果に終わっている。新年度から当法人が京都大学から阿武山観測所のサイエンスミュージアムとしての運営を委託されることになり、円滑な運営を行うためにも、当法人のホームページをはじめ、見学会や講演会等での入会案内を積極的に行い会員確保に努めていく。

また当法人の下支えする阿武山サポーター会のボランティア活動参加者の高齢化等が進み減少傾向にあり、さらに今年度新規参加者が2名あったが受け入れ体制が不十分で活動継続に至らず、この現状が続くと見学会等の運営にも支障をきたす恐れがある。

そのためサポーターを積極的に受け入れ、適切な教育を施すための体制を作った上で、市の広報誌などを通じてサポーターの募集をかけ増員を図る施策を実施する。

一般見学会や団体見学会、また、出前講座等の運営は10年に渡るサポーターの経験と努力によって安定し、成熟の域に達している。しかし、セミナー内容は当初から変わっておらず、今後は新規コンテンツ等を広げ、また、プログラム内容も固定化せず、幅広い人々がより楽しみ学び合う機会を設け、リピーター客の増加にもつなげたい。

出前講座などの活動も増やすために、ホームページの活用や広報・チラシ配布などでPRも行い、様々な場所へ出向いて講演を行っていききたい。

また、今年度よりはじまった阿武山小学校との交流を皮切りに、今後は防災講演会などを通じて、地元とのかかわりをより強くしてゆく活動も進めて行きたい。

令和4年度は有料講演会「新まんてんてらこや」を講演形式とオンライン形式のハイブリッドで実施して好評だった。令和5年度も公開講座として年数回実施を企画し、地震学や防災・減災に限定することなく多様な分野で活躍の講師を招いて講演してもらい、会員のみならず一般市民にも様々なノウハウを提供していききたい。

冊子「阿武山観測所ガイドブック」は第1刷500部をほぼ完売し、第2刷500部を追加で印刷した。引き続き見学会や講演会などで販売を行っていく。

さらに令和5年度は新たに当NPO理事の梅田康弘先生に執筆いただいた書籍「地震情報を読み解く」を出版し、学生のみならず広く一般の読者への販売を行っていく。

阿武山観測所の約10万㎡に及ぶ広大な敷地内の樹木の伐採、草刈りや植栽など、訪問者の安全かつ快適な環境作りに努める「阿武山グリーンクラブ」も重要な活動を担っている。今後も阿武山観測所構内の安全な環境づくりに努めていく。

Ⅲ 事業の実施に関する事項

1. 特定非営利活動に係る事項

(1) (事業名) 一般見学会

(内 容) 地震学の歴史講座と歴代地震計などの各種展示ツアーガイド及び、屋上展望案内を行う。また、大阪平野の地下活断層をCG映像化したビデオを放映する。ミニプログラムでは希望者に阿武山古墳、観測所の建物解説や敷地内の自然観察ツアー、防災対策クイズを日替わりで開催する。

(実施場所) 阿武山観測所

(実施日時) 毎月第2土曜日/第3日曜日

①10:00~12:00 ②13:30~15:30

(事業の対象者) 一般市民

(収 益) なし (参加費無料)

(費 用) なし

(2) (事業名) 団体般見学会

(内 容) 10名以上の団体を対象とする見学会。一般見学会の内容をベースに団体の希望に応じて内容や所要時間等をカスタマイズできる見学会を開催する。

(実施場所) 阿武山観測所

(実施日時) 随時受付。 10:00~16:00

(事業の対象者) 10名以上の一般市民(団体)

(収 益) 参加費が必要な催しで当観測所を利用する場合は、有料化での開催を主催者に交渉する。

(費 用) なし

(3) (事業名) ペットボトル地震計講座

(内 容) 小学生を対象にした地震学と工作の講座で、地震計の仕組みを勉強し、ペットボトルを使って簡易な地震計を作成する。学校では体験できないような学習の場を提供し、子どもの学習意欲の向上を図る。令和5年度は下記①から④の講座以外に、新たな講座が開催できるよう、見学会参加者や広報誌、ホームページやメルマガなどで積極的にペットボトル地震計講座を宣伝する。

(実施場所) ①阿武山観測所

(実施日時) 7月22日(土)/23日(日) 各日とも午前午後の2回

(事業の対象者) 小学4年~6年生(保護者同伴)

(収 益) 10,000円(参加代1人500円の徴収を目指す ×10人×2日)

(費 用) 6,000円(材料費)

(実施場所) ②高槻市立自然博物館(あくあぴあ芥川)

(実施日時) 7月29日(土) 午前午後の2回

(事業の対象者) 小学4年~6年生(保護者同伴)

(収 益) 8,000円(講師謝礼)

(費 用) 2,000円(講師交通費)

(実施場所) ③高槻市立総合市民交流センター(クロスパル高槻)

(実施日時) 7月30日(日) 午前午後の2回

(事業の対象者) 小学4年～6年生(保護者同伴)
(収 益) 42,000円(講師謝礼2人・補助従事者謝礼6人)
(費 用) 2,000円(講師交通費)

(実施場所) ④人と防災未来センター(神戸市)
(実施日時) 8月5日(土)/6日(日)2日間予定/各日とも午前午後の2回
(事業の対象者) 小学4年～6年生(保護者同伴)
(収 益) 見込80,000円(講師謝礼/1日30,000円×2日+
参加費/資料代:1名500円×20人/日×2日)
(費 用) 見込40,000円(講師交通費30,000円、工具等配送料10,000円)

- (4)(事業名)阿武山観測所の管理受託業務(請負業務)
(内 容)京都大学防災研究所附属地震災害研究センターから、同センター所属の阿武山観測所の管理業務について、同観測所屋上排水溝清掃並びに観測所一般見学会の管理運営業務を受託して実施する。
(場 所)阿武山観測所
(実施日時)排水溝清掃は年2回、見学会は月2回、年24回開催
(収 益)499,000円(年度一括)
(費 用)年度見込416,000円 ※費用科目は要検討中
・事務局作業費(月・木):288,000円
(1日3時間×週2日×月4週×12か月 時間@1,000円)
・一般見学会送迎交通費(JR摂津富田⇄阿武山観測所):10,000円
(1往復1台200円=往復距離10kmの平均燃費 送迎2台×25回)
・議事録作成費、集計作業費:118,000円
(議事録作成5時間×時間@1,000×14回=70,000+
一般見学会アンケート集計2時間×時間@1,000×24回=48,000)
- (5)(事業名)出前講座(防災講演会)
(内 容)地震や防災に関する一般向けの講演会を要請された場所へ出向いて行う。またオンライン会議機能を使ったネット講座も可能とする。
令和5年度は見学会参加者や広報誌、ホームページやメルマガなどで積極的に出前講座を宣伝する。
(場 所)地域自治体の公民館やコミュニティーセンターまたはオンライン開催
(実施日時) 随時
(事業の対象者)一般市民及び自治会や団体等
(収 益) 見込 30,000円(講師代1回10,000円×3回)
(費 用) 見込 3,000円(交通費1,000円×3回)
- (6)(事業名)公開講座(新まんてんてらこや)
(内 容)一般市民向けの公開講座。毎回さまざまな分野から講師を招き、最新の地震学や防災・減災に関する話題を提供して学びを共有する。
(実施場所)阿武山観測所またはオンライン開催
(実施日時)年間2～3回予定
(事業の対象者)一般市民及び当NPO会員
(収 益) 参加費 一般ひとり500円、当NPO会員は無料
(費 用) Peatix(イベント会社)手数料(収益の4.9%+利用者数×99円)

- (7) (事業名) 阿武山観測所の環境整備活動
 (内 容) 阿武山グリーンクラブが中心となり、約 10 万平方メートルに及ぶ
 広大な観測所敷地内の樹木の伐採や草刈り、落ち葉処理や植栽な
 ど訪問者や周辺住民の安全かつ快適な環境作りに努める。また、樹
 木の名前プレート設置など、自然観察ツアーの補助も行う。
 (実施場所) 阿武山観測所構内
 (実施日時) 毎月金曜日
 (事業の対象者) 見学者及び地域住民
 (収 益) なし
 (費 用) なし
- (8) (事業名) 地震防災講演会セミナー開催支援活動
 (内 容) 阿武山観測所の 2 つの会議室を活用したセミナーや各種研修会
 など各種イベント開催を支援する。
 また令和 4 年度に引き続き、京都大学桜島火山観測所における見学
 会開催を実現するための支援活動を継続して行う。
 (実施場所) 阿武山観測所、桜島火山観測所のハルタ山観測所
 (実施日時) 随時
 (事業の対象者) 一般市民および大学研究者、会員など
 (収 益) 各案件で適宜見積り
 (費 用) 交通費等 (桜島の出張費は 1 回 1 人 1 泊 45,000 円)
- (9) (事業名) 教育関係者の研修、教育教材開発の支援事業
 (内 容) 教育関係者の研修や教育教材開発のための支援を行う
 学生を対象に満点地震計を使った実習教育を実施する
 (実施場所) 阿武山観測所
 (実施日時) 5 月 14 日
 (事業の対象者) 大学生
 (収 益) 見込 46,000 円
 (費 用) なし
- (10) (事業名) 第 3 回阿武山観測所と阿武山周辺の写真コンテスト開催
 (学術、教育、文化・芸術の支援事業)
 (内 容) 阿武山観測所や阿武山周辺を含む北摂地域で撮影された四季折々
 の写真を一般公募し、入賞者には賞金や記念品を贈呈。また、作
 品は当法人のホームページやガイドブックに掲載予定。こうした
 文化・芸術活動など、幅広いイベントを通して当法人の PR
 や新規会員の獲得にもつなげたい。
 (実施場所) 阿武山観測所及び北摂地域
 (実施日時) 9 月頃から作品募集開始
 (事業の対象者) 一般市民及び当 NPO 会員
 (収 益) なし
 (費 用) 30,000 円
 (大賞 1 名：10,000 円、準大賞 2 名：5,000 円×2、他郵送料等)

- (11) (事業名) NPO及び阿武山サポーター活動推進のための体制強化
(内 容) サポーター人材育成およびNPO事務局の強化
広報誌等でサポーターの募集をかけ、応募者を適切なカリキュラム
で教育訓練する。そのための教材作成や専門講師の手配を行う。
制服も新たに新調しサポーターのモチベーション向上を図る。
(収 益) なし
(費 用) サポーター育成講師代、ユニフォーム製作費、教材作成費等

2. その他の事業

- (1) (事業名) 地震・防災に関連する書籍や資材、物資の紹介と販売事業
(内 容) ①阿武山観測所を紹介したガイドブック
地震学と阿武山観測所の歴史、保存展示している歴代地震観測
機器の解説。また、昭和初期の歴史的な建築物を紹介や周辺の
自然や眺望なども紹介。
②書籍「地震情報を読み解く」の出版と販売。
(実施場所) 阿武山観測所やイベント会場
(実施日時) 見学会や講演会等イベント実施日
(事業の対象者) 一般市民及びイベント参加者など
(収 益) ①阿武山観測所ガイドブック 150,000円(500円×300部)
②地震学の書籍 300,000円(1,500円×200部)
(費 用) 印刷製本費 ①見込 50,000円(第3刷500部増刷)
②見込 300,000円(初刷400部印刷)

以 上

活動予算書

2023.5.31作成

Ver2.0

第3期 (自2023年4月1日 至2024年3月31日)

税込 (単位: 円)

	特定非営利活動に係わる事業	その他の事業	合計
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員会費 (44人+新規10人)x3千円	162,000		162,000
準会員会費 (6人+新規3人)x2千円	18,000		18,000
賛助会員会費 (6人+新規3人)x3千円			
(1社+新規1社)x3万円	87,000		87,000
会費合計	267,000		267,000
正会員入会金 (新規10人×2千円)	20,000		20,000
準会員入会金 (新規3人×1千円)	3,000		3,000
入会金合計	23,000		23,000
受取会費合計	290,000		290,000
2. 受取寄付金			
	0		0
3. 事業収益			
自主事業収益		450,000	450,000
(ガイドブック300部×500円 地震入門書籍200部×1500円 販売)			
講演会セミナー等収益	291,000		291,000
(ペットボトル講座3か所 :140,000円 出前講演会3回 :30,000円 新まんでてらこや3回 :75,000円 教育関係者研修 :46,000円)			
阿武山観測所管理受託業務収益	499,000		499,000
事業収益合計	790,000	450,000	1,240,000
4. その他収益			
受取利息			0
経常収益計	1,080,000	450,000	1,530,000
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費	406,000	0	406,000
(2) その他経費			
印刷製本費 (事業)		350,000	350,000
(ガイドブック増刷 500部×原価100円 地震入門書籍400部×原価750円)			
旅費交通費 (事業)	47,000		47,000
通信運搬費 (事業)	10,000		10,000
消耗品費 (事業)	6,000		6,000
支払手数料 (事業) Peatix	18,600		18,600
雑費 (事業)	300,000		300,000
(講師育成10万円、制服代15万円、 教材代5万円等)			
その他経費計	381,600	350,000	731,600
事業費計	787,600	350,000	1,137,600
2. 管理費			
(1) 人件費	0	0	0
(2) その他経費			
印刷製本費 (管理)	26,000		26,000
通信運搬費 (管理)	15,000		15,000
消耗品費 (管理)	5,000		5,000
地代家賃 (管理)	11,466		11,466
減価償却費 (パソコン)	32,756		32,756
保険料 (NPO損害賠償保険)	81,620		81,620
支払手数料	30,000		30,000
雑費 (コンテスト賞金他)	30,000		30,000
その他経費計	231,842	0	231,842
管理費計	231,842	0	231,842
経常費用計	1,019,442	350,000	1,369,442
当期経常増減額	60,558	100,000	160,558
経常外収益	0	0	0
経常外費用	0	0	0
税引前当期正味財産増減額	60,558	100,000	160,558

事業別活動予算書

Ver2.0 第3期 (自2023年4月1日 至2024年3月31日)

	特定非営利活動に係わる事業				その他事業	2023.5.31作成
	管理	収益事業				税込 (単位:円)
	ミュージアム活動	ペットボトル講座	講演会セミナー	管理受託業務	書籍出版販売	合計
I 経常収益						
1. 受取会費						
正会員会費 (44人+新規10人)x3千円	162,000					162,000
準会員会費 (6人+新規3人)x2千円	18,000					18,000
賛助会員会費 (6人+新規3人)x3千円	87,000					87,000
会費合計 (1社+新規1社)x3万円	267,000					267,000
正会員入会金 (新規10人×2千円)	20,000					20,000
準会員入会金 (新規3人×1千円)	3,000					3,000
入会金合計	23,000					23,000
受取会費合計	290,000					290,000
2. 受取寄付金						
	0					0
3. 事業収益						
自主事業収益					450,000	450,000
(ガイドブック300部×500円)						0
地震入門書籍200部×1500円 販売)						0
講演会セミナー等収益	140,000	151,000				291,000
(ペットボトル講座3か所 :140,000円)						
出前講演会3回 :30,000円						
新まんでてらこや3回 :75,000円						
教育関係者研修 :46,000円)						
阿武山観測所管理受託業務収益				499,000		499,000
事業収益合計	0	140,000	151,000	499,000	450,000	1,240,000
4. その他収益						
受取利息						0
経常収益計	290,000	140,000	151,000	499,000	450,000	1,530,000
II 経常費用						
1. 事業費						
(1) 人件費	0	0	0	406,000	0	406,000
(2) その他経費						
印刷製本費 (事業)					350,000	350,000
(ガイドブック増刷						0
500部×原価100円						0
地震入門書籍400部×原価750円)						0
旅費交通費 (事業)	34,000	3,000	10,000			47,000
通信運搬費 (事業)	10,000					10,000
消耗品費 (事業)	6,000					6,000
支払手数料 (事業) Peatix			18,600			18,600
雑費 (事業)			300,000			300,000
(講師育成10万円、制服代15万円、教材代5万円等)						
その他経費計	0	50,000	321,600	10,000	350,000	731,600
事業費計	0	50,000	321,600	416,000	350,000	1,137,600
2. 管理費						
(1) 人件費	0	0	0		0	0
(2) その他経費						
印刷製本費 (管理)	26,000					26,000
通信運搬費 (管理)	15,000					15,000
消耗品費 (管理)	5,000					5,000
地代家賃 (管理)	11,466					11,466
減価償却費 (パソコン)	32,756					32,756
保険料 (NPO損害賠償保険)	81,620					81,620
支払手数料	30,000					30,000
雑費 (コンテスト賞金他)	30,000					30,000
その他経費計	231,842	0	0	0	0	231,842
管理費計	231,842	0	0	0	0	231,842
経常費用計	231,842	50,000	321,600	416,000	350,000	1,369,442
当期経常増減額	58,158	90,000	-170,600	83,000	100,000	160,558
	収益事業の利益			102,400		

特定非営利活動法人阿武山地震・防災サイエンスミュージアム

役員名簿

役職名	氏名	役職名	氏名
理事	いいお よしひさ 飯尾 能久	理事	しろした ひでゆき 城下 英行
理事	やもり かつや 矢守 克也	理事	みぞぐち ひろかず 溝口 宏一
理事	うめだ やすひろ 梅田 康弘	理事	わたなべ みきお 渡 邊 三来生
理事	おかだ のりお 岡田 憲夫	理事	わかい まさかつ 若井 正勝
理事	おかだ あつまさ 岡田 篤正	理事	きかて ひろと 坂手 央人
理事	かたお ひろし 片尾 浩	監事	おおしまん なおと 大志万 直人
理事	はやし よしなり 林 能成	監事	ひらばやし えいじ 平林 英二

令和5年7月1日から令和6年6月30日まで